

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	青少年の社会参加・体験活動の機会づくりに要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	4	1	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	135青少年の健全育成	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	青少年関係団体間の連携をより推進し、事業のさらなる充実化を図っていく。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	青少年関係団体間の連携をより推進し、事業のさらなる充実化を図っていく。また補助金交付団体に対し、「ふるさと意識醸成(やがて故郷に変わる街の実現)」に繋げるため、青少年の思い出づくりの積み重ねを視点すべく意見交換を実施し、事業の有効性を高める。
②①に基づく取り組み結果	青少年育成推進会議と青少年相談員連絡協議会が共催し、東日本大震災被災地支援を通じた青少年健全育成事業として、「復興支援チャリティフェスタ」を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	青少年及び関係団体	意図(対象をどうするのか)	青少年健全育成及び団体の活性化
②事務事業の概要	青少年への自然体験・社会体験の機会提供及び関係団体の活動支援			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	社会構造の変化に伴い、従来は自然発生した異年齢交流や自然体験、社会体験等青少年期における社会形成の場が減少傾向にあり、それらの機会の必要性はより求められている。事業への期待は高く、その傾向は継続していくと思われる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	青少年関係団体間の連携に取り組み、青少年育成推進会議と青少年相談員連絡協議会が共催事業を実施するなど、青少年健全育成事業の充実化を図った結果、延べ10,000人以上が青少年健全育成に係るイベントに参加した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	元気っ子ゼミナール参加者数	47	48	58	人	業務取得
	ii	成人の日記念行事実行委員会議数	11	12	13	回	業務取得
	iii	各団体活動数	162	154	151	回	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	8,142	5,580	金額(千円)		内容	7,680	
国支出金(千円)	0	0	1,078	成人式会場設営等委託		0	
県支出金(千円)	235	235	243	成人式記念行事実行委員会負担金		235	
市債その他(千円)	0	0	2,408	青少年教育関係団体等活動補助金		0	
一般財源(千円)	7,907	5,345				7,445	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	社会全体の規範意識の希薄化により、地域の教育力の重要性が増す中、事業の担い手の確保が課題となっている。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	ボランティアでの活動が中心となるため、低コストで事業効率の高いイベントを実施しているが、より効果的に補助金が使われるよう引き続き精査するため				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		平成28年度への繰越額(単位:千円)			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	生涯学習推進センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	4	2	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	生涯学習情報の効果的なPR方法を推進する	③平成28年度に取組む改革・改善内容	市民の好奇心を「育む」ため、生涯学習センター内のディスプレイを工夫し、実施する。
②①に基づく取組み結果	広報への掲載の他、各公民館でのポスターの掲示やチラシの配布をおこなった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民 関係機関職員	意図(対象をどうするのか)	活力のある生涯学習社会の実現
②事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設の供用 生涯学習情報の提供 			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	自己実現の場として、さらには社会参加への機会の場として、利用者は増加し、学習意欲の多様化が進んでいくものと推察される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	利用者の増加に対応し、システムの更新を行い、さらに効率よく「施設予約」などができる利用しやすいシステムの構築を図った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	生涯学習推進センター利用件数	1,968	2,085	1,449	件	業務取得
	ii	インターネットアクセス件数	30,259	32,058	91,465	件	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	40,442	28,576	金額(千円)	内容	33,687		
国支出金(千円)	0	0	12,991	使用料及び賃借料	0		
県支出金(千円)	0	0	6,838	委託料	0		
市債その他(千円)	0	0	6,782	需用費	0		
一般財源(千円)	40,442	28,576	7,047	賃金	33,687		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	年々、市民の学習意欲の多様化・専門化が進んでおり、学習機会の増加が求められている					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	多様な学習要求に対してサービスの向上を図るため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由			流用・充当		
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センターの管理運営に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	4	2	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	さらなる学習機会の提供に努め、事業の改善等を進める。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	さらなる学習機会の提供に努め、事業の改善等を進める。 改善の方向性として、実施する講座の講師を、可能な範囲で、市内の方に依頼することで、まちの魅力再発見に繋げる。
②①に基づく取組み結果	現代的課題に応じた学習機会の提供に努めた結果、前年度とほぼ同数の受講者数となった。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	一般市民	意図(対象をどうするのか)	活力ある地域社会の推進
②事務事業の概要	地域の学習拠点としての有効性を高める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	学習意欲の拡大、学習サークルなどへの参加によって、さらに学習センターを生涯学習の場として利用する市民が増えるものと推察される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	市民の学習ニーズに応え、学習意欲を満足させるため、市民の関心があるテーマを選ぶようにし、学習内容の創意工夫に努めた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	延べ主催講座参加者数	16,671	21,725	20,184	人	業務取得
	ii	延べ施設利用者数	277,749	255,487	284,439	人	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	95,113	85,726	金額(千円)		内容	98,414	
国支出金(千円)			85,726		市内5館の管理運営に要する経費		
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	95,113	85,726				98,414	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	学習ニーズの多様化・専門化や学習意欲の向上から、こうした様々な希望に応える講座提供が求められる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	地域の生涯学習の拠点として、市民ニーズにフレキシブルに対応できる講座内容の立案を行う必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越	
		H26⇒27繰越				
③達成状況	0	補正		0	現年分	
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)					

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学習センター等改修事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	12いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	生涯学習推進センター及び北部公民館の外壁・屋上防水改修工事、空調設備改修工事を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	東初富公民館の外壁・屋上防水改修工事設計委託を行う。
②①に基づく取り組み結果	生涯学習推進センターは6～7月に、北部公民館は7～8月にそれぞれ外壁・屋上防水改修工事、空調設備改修工事を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	生涯学習活動を行う市民	意図(対象をどうするのか)	改修の実施により利用環境悪化を防ぎ、環境の快適化により施設の利用促進に資する。
②事務事業の概要	地域の学習拠点としての有効性を高める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	ほとんどの施設が老朽化しているため、今後も改修工事は必要であると予想される。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	生涯学習推進センターは6～7月に、北部公民館は7～8月にそれぞれ外壁・屋上防水改修工事、空調設備改修工事を実施した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 工事件数	0	13	4	業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	280,713	166,285	金額(千円)	内容	2,762
国支出金(千円)			75,657	外壁・屋上防水工事	0
県支出金(千円)			88,580	空調設備改修工事	
市債その他(千円)	213,800	151,100			
一般財源(千円)	66,913	15,185			2,762

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化に伴い、改修個所が増加することが予想される。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	施設の老朽化に伴う計画的な改修は必要不可欠であり、市民の生涯学習の場を安定的に提供するため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	生涯学習推進センター及び北部公民館の外壁・屋上防水改修工事、空調設備改修工事を行う。	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	予定どおり実施	178,028	178,028	当初	178,028	H26からの繰越	0
				H26⇒27繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	166,285	現年分
				流用・充当	-2,541		
④未完了・非着手の理由		平成28年度への繰越額(単位:千円) 0					

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	中央地区公共施設駐車場整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	3	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	青木 真也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成27年度のみのものであるため、前回の評価なし。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	平成27年度で終了のため、なし。
②①に基づく取り組み結果	なし		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市民(施設利用者)	意図(対象をどうするのか)	利便性の向上
②事務事業の概要	市民会館の開設に伴う中央地区公共施設の駐車場整備			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	初富駅前の無料駐車場ということから、無断駐車が懸念される。有料化を望む声もあることから、今後有料化も含め駐車場の管理運営について検討が必要。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	用地買収、所有権移転を完了し、アスファルト整備工事、区画割、車止め工事、看板設置を行い平成28年4月1日供用開始				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 中央公民館利用者数	97,436	66,674	95,029	人 業務取得
	ii きらりホール来場者数	-	74,932	58,438	人 業務取得
	iii 図書館利用者数	123,158	122,133	122,780	人 業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)		331,002	金額(千円)	内容	0
	国支出金(千円)		108	需用費	
	県支出金(千円)		17,153	工事費	
	市債その他(千円)	248,100	149,262	公有財産購入費	
	一般財源(千円)	82,902	164,479	補償補填及び賠償	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	今後は、駐車場の適正な管理運営を行っていく必要がある。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	第1、第2駐車場ともに平成28年4月に供用を開始したため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	鎌ヶ谷市中央地区にある公共施設利用者の利便性向上を図るため、近隣の用地を購入し、駐車場整備を行う。	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	中央地区公共施設駐車場の整備及び供用開始	334,119	334,119	当初	328,675	331,002	H26からの繰越	0
③達成状況	完了			H26⇒27繰越	0			
				補正	5,444			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0	現年分	331,002	
		平成28年度への繰越額(単位:千円)		0				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	非行防止対策の推進に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	10	4	5	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	135青少年の健全育成	担当課室長	大関 克由			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	地域等との連携を強化し「こども110番の家」の設置の啓発に努め、増設を図る。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	地域等との連携を強化し「こども110番の家」の設置の啓発に努め、増設を図る。学校開放事業の運営委員会の中で、「こども安全メール」の実績を紹介するとともに、登録の啓発を行う。
②①に基づく取り組み結果	既設協力者の高齢化による辞退や協力店舗の閉鎖等により減少したため、補導員及びセンター職員で市内店舗を訪問し設置依頼をした結果、約50件の設置が図れた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内の青少年	意図(対象をどうするのか)	①非行の早期発見、早期指導により青少年の非行を防止する②速やかに情報を発信し青少年の安全確保を図る。
②事務事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達の非行防止を図るため、(計画補導、夜間補導、市内一斉補導等)を行う。 子ども達の安全確保を図るため、子ども安全メールにより情報を発信する。 			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に、犯罪、非行の低年齢化が進んでいる反面、小中学生が犯罪被害者となる事件が数多く発生している。 子ども安全メールの発信に伴う、情報提供の迅速化や「こども110番の家」の増設の要望がある。 			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	補導、相談等の活動において青少年非行の早期発見、早期指導を実施することにより、青少年の健全育成の向上が図られた。					
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i	子ども安全メール登録者数	5,163	5,786	4,784	人 業務取得
	ii	地域見守り活動従事者数	962	1,187	1,161	人 業務取得
	iii					
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	6,626	8,367	金額(千円)	内容	7,046	
	国支出金(千円)		163	青少年センター運営協議会委員報酬		
	県支出金(千円)	250	250	794	青少年補導員報酬	250
	市債その他(千円)		201	青少年センターだより「緑の子」印刷		
	一般財源(千円)	6,376	8,117	176	青少年補導員連絡協議会補助金	6,796

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	今後ますます低年齢層による非行が増加するとともに、犯罪被害者となるケースも増えるものと思われる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	家庭、学校、地域又関係機関との連携を図りながら、補導活動への協力や子ども達の安全に関心を持ってもらうなど地域ぐるみで子ども達を見守り、子ども達が心身ともに健康で安全な生活を送れる環境をつくった。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H26⇒27繰越		
③達成状況		補正		現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当			
	平成28年度への繰越額(単位:千円)			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館蔵書・資料整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	4	4	○
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります	担当課室	生涯学習推進課			
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	高橋 千恵子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	保育園や学校・行政の関係機関との連携により子どもの読書環境を整備する。定年退職を迎えたシニア世代の憩いの場を確立する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	保育園や学校、行政の関係機関との連携により子どもの読書環境を整備する。定年退職を迎えたシニア世代の憩いの場を確立する。
②①に基づく取り組み結果	学校との連携が進んだことにより、団体貸出が増加している。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	図書館の資料(図書及び視聴覚資料)	意図(対象をどうするか)	利用者の多様なニーズに応えるため、図書館資料の質的向上を図る。
②事務事業の概要	資料収集基準に基づき図書・視聴覚資料を選定・購入			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	昭和49年10月に条例を設置し業務を開始。その後昭和52年に市役所旧庁舎へ改修・移転し、昭和62年に現在地に図書館本館を建設した。また、市民がより身近に利用できるよう、分館を整備した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	一般図書5,681冊、児童図書2,195冊、視聴覚資料136点を購入することにより、平成27年度末の蔵書数は、303,029冊となった。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	蔵書数	297,926	301,319	303,029	冊	業務取得
	ii	図書購入数	7,838	7,779	7,876	冊	業務取得
	iii	図書貸出数	410,564	400,266	408,725	冊	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	15,000	15,000	金額(千円)	内容	15,000		
	国支出金(千円)		10128	一般図書購入:5681冊			
	県支出金(千円)		3875	児童図書購入:2195冊			
	市債その他(千円)		996	視聴覚資料購入:136点			
	一般財源(千円)	15,000	15,000		15,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	様々な分野において図書、視聴覚資料の充実が求められている。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者の多様化するニーズに対応するために各種分野に及ぶ図書、視聴覚資料の充実が求められているため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	図書資料購入	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	資料収集基準に基づき図書・視聴覚資料を選定・購入	15,000	15,000	当初	15,000	15,000	H26からの繰越	
				H26⇒27繰越				
③達成状況	完了			補正			現年分	15,000
④未完了・非着手の理由				流用・充当				
		平成28年度への繰越額(単位:千円) 0						

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	図書館情報ネットワーク整備事業	会計	款	項	目	多額	
		一般	10	4	4	〇	
政策	12生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくれます	担当課室	生涯学習推進課				
施策	121いきいきとした生涯学習の推進	担当課室長	高橋 千恵子				

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	蔵書公開システムや図書館ホームページのさらなる充実を図り、利用者により多くの情報を提供する。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	蔵書公開システムや図書館ホームページのさらなる充実を図り、インターネットによる圖書の延長システム導入をする。
②①に基づく取組み結果	インターネットによる予約が増加している。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①インターネットを使った図書館と利用者とのネットワーク ②図書館間のネットワーク	意図(対象をどうするか)	利用者の利便性の向上。市民・利用者が必要とする図書資料や情報を迅速かつ的確に提供する。
②事務事業の概要	①図書館が所蔵する図書資料のインターネットでの公開 ②圖書の予約貸出			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	利用者の利便性の向上。市民・利用者が必要とする図書資料や情報を迅速かつ的確に提供する。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	図書館ホームページアクセス数 161,119 件 インターネット予約数 30,916 件						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	ホームページアクセス数	157,649	155,211	161,119	件	業務取得
	ii	予約リクエスト数	42,563	41,883	42,345	件	業務取得
	iii	延べ利用者数	123,158	122,133	122,780	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	8,225	8,249	金額(千円)		内容	8,250	
	国支出金(千円)			625	プロバイダー回線使用料		
	県支出金(千円)			139	電話料		
	市債その他(千円)			6,837	図書館オンライン使用料		
	一般財源(千円)	8,225	8,249	648	インターネット検索・予約システム使用料	8,250	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	インターネットの普及による情報化社会に対応するため、図書館情報システムのさらなる充実を図る。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	利用者が自宅にいながら圖書の検索や予約ができるシステムは、今後さらに内容を充実させ拡大していく必要性があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	システム運用	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	図書館が所蔵する図書資料をインターネットで公開し、予約貸出をする。	8,250	8,250	当初	8,250	8,249	H26からの繰越	
				H26⇒27繰越			現年分	8,249
				補正				
③達成状況	完了			流用・充当				
④未完了・非着手の理由		平成28年度への繰越額(単位:千円) 0						